

中之条ビエンナーレ 2015 参加企画

# FlatHOME

## @グンダイビジュツトクシ

群大美術+同附属特別支援学校 × アーティストによる  
アートカフェとワークショップ

伊参スタジオ

FlatHOME   
@グンダイビジュツトクシ

旧伊参小学校（総合受付）  
隣：旧伊参幼稚園  
\* つむじから車7分（4.5km）

道の駅霊山たけやま

フラットホーム@グンダイビジュツトクシでは、群馬大学教育学部美術教育講座の院生・学生と同学部附属特別支援学校高等部の生徒、アーティストがアートカフェを協同して運営します。フラットなコミュニケーションを誘発する5つのワークショップとアートコミュニケーションによるインクルーシブ教育を考えるシンポジウムを通して、フラットホームに訪れたみなさんとどんなコミュニケーションが始まるのか、楽しみにしています。

お問い合わせ

〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 群馬大学教育学部 喜多村徹雄  
email: kitamura1976@gunma-u.ac.jp



参加無料

旧伊参幼稚園

会期中の土日祝

10:00~17:00

■ 主催/群馬大学教育学部美術教育講座 茂木一司研究室、群馬大学教育学部附属特別支援学校高等部

■ 助成/平成27年度 文部科学省 児童生徒の人間関係形成能力やコミュニケーション能力等の育成に関する研修等の調査研究、環境芸術学会

■ 協力/科学研究費補助金基盤研究(C)「地域資源を活用した美術科鑑賞題材の開発研究」課題番号:15K04408

会期中  
土曜日  
OPEN

あそびアートカフェ -みんなの家-

ワークショップ

「あそびアートカフェ みんなの家」は、群馬大学教育学部附属特別支援学校 × 群馬大学教育学部 × アーティストがフラットな関係で作りあげるコミュニケーションの場です。部屋のいたるところに体感型のアートの仕組みが用意されています。飲み物が出てくるのを待ちながら、カフェスタッフといっしょに絵を描くのもいいし、レゴブロックで遊んだり手作りゲームを楽しむのもいい。「あそびアートカフェ」はみんなで作ります。



会期中  
日・祝  
OPEN

ふらっと・ぶらっと  
-フラットなつながりをつくりだすワークショップ-

ワークショップ

「つながりたい」「通じあいたい」「心を触れあわせたい」そんな思いから、群馬大学教育学部美術教育講座の学生・院生が「フラットなコミュニケーション」をつくりだす WS です。ふらっと立ち寄った人たちとどのようにしたら「つながり」が生まれるのか、中之条の自然、温泉から感じた穏やかさをてがかりにした企画です。



9/12(sat)  
10/3(sat)  
10/10(sat)

伊参デイドリーム

ワークショップ

美しい山河や花々をはじめ、豊かな自然や歴史にあふれる中之条のまち。この地域ならではの伝説やシンボルをモチーフにして、短い時間で気軽に参加できるワークショップです。群馬大学教育学部附属特別支援学校・群馬大学教育学部・アーティストが協働し、参加者みんなが少しずつ手を加え、だんだんつながり大きくなっていく。そんなプログラムを用意しています。  
所要時間：10分程度 作家：塩川 岳



9/19(sat)  
10:00-12:00  
13:00-15:00

中之条に足跡を残そう

ワークショップ

クリスティアン・ボッフエリ × 宮山香里 + グンダイビジュツトクシのワークショップ。群馬大学教育学部附属特別支援学校の高等部生がイメージした「中之条」とは「森」「いきもの」「温泉」、つまり「みんなが集う場所」でした。そこから出発した造形に、それぞれの“足跡”を残していきませんか。一人一人が想像を巡らせ、紙版画やスタンプにおこし、みんなの場を少しずつ足跡でうめていきます。  
作家：クリスティアン・ボッフエリ × 宮山香里



9/26(sat)  
10:30-11:30  
13:00-14:00

からだであそぼう ■受付 9:30- / HP 予約は 9/24(木)17時まで

ワークショップ

演劇百貨店の柏木陽さんの演劇ワークショップです。演劇といっても、脚本どおりに演じるのではありません。動物や機械のうごきっておもしろいよね。何かになってみるのも演劇なんだ。いろいろなからだ=表現あそびをするよ。  
作家：柏木 陽 定員：当日先着 50人(5歳以上)



10/4(sun)  
13:00-16:00

「アートコミュニケーションを核にした  
インクルーシブ教育は何をもたらすのか」

シンポジウム

■申込不要・先着 50名(無料)

各地で多数開催されるアートプロジェクト (AP) は地域の文化資源になりつつありますが、より多くの「社会」と接続する必要があるのではないか？インクルーシブ組織を編成し、アートコミュニケーションによるアクティブラーニングをAPの舞台で実践することの意義や課題、そして可能性とは何か。『フラットホーム』について考えたい。

- パネリスト：苅宿 俊文 (青山学院大学 教授)、手塚 千尋 (東京福祉大学 助教)、新井 洋美 (群馬大学附属特別支援学校 教諭)、塩川 岳 (アーティスト)、茂木 一司 (群馬大学 教授)
- 司会：喜多村 徹雄 (群馬大学 准教授)

